



会報『すえひろ』48号

(平成26年10月号)

10万人の

選 択

はら

はちろう

原 八 郎

鎌ヶ谷市議会議員
都市・市民生活常任委員会委員長
会派 政友会

原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。
鎌ヶ谷市道野辺本町1-1 1-8 ☎4 4 5-3 4 6 6 <http://hara-hachirou.info/>

今月号の項目

①お詫び「10万人の選択」会報誌「すえひろ」が六月議会では発行できずに終わりました。山で滑落事故を起こし大けが・

②九月定例議会

議案十八件、請願一件 全て可決
陳情五件中三件採択、二件不採択
二十五年年度決算承認

③九月議会一般質問

・認知症対策
・予防事業に重点を
・リハビリ病院の誘致提案
・鎌ヶ谷市観光振興策
・駅間ハイク提案

④乳幼児の子育ての大切さ

保育園建設 待機児童0を目指す。

⑤「脳トレいきいきサロン」

サポーター募集中

⑥原八郎のルーツ「歩」三十四回

(二年浪人決定の日)

市政報告会のお知らせ

十一月三日(月祝) 十時~十二時
中央公民館三階 学習室五
(ヨール堂の上三階右側)
どなたでも参加歓迎します。

①会報「すえひろ」休刊のお詫び

日頃よりご後援いただきまして誠に有難うございます。会報を休刊させて頂いてまい、申し訳ありませんでした。紙面にて詳細をお知らせし、お詫びに替えさせていただきます。

五月六日に群馬県と長野県の県境の山から下山中、滑落事故を起こし大けがをする。ドクターヘリで高崎総合医療センターに入院、五月一二日に鎌ヶ谷総合病院に転院、六月一九日に松戸リハビリテーション病院に転院し、八〇日間の入院生活。リハビリに励み、七月二五日に無事退院してきました。治療に専念する為六月議会を休み、その為、休刊させて頂きました。

滑落事故で、崖を五メートルほど落ちましたが、意識を失うことがありませんでしたので命拾いをしました。頭を三カ所ほど切り出血し、顔面血だらけでしたが、一五〇メートルほど下に道路が見えました。這いながら道路まで必至で下り、道路に寝転んでいました。車が通りかかり、救急車を呼んで頂けたので、命拾いました。背骨二ヶ所骨折、頸椎損傷で八〇日間入院しましたが、無事退院できました。「私は生かされた」のだなど、命の尊さをしみじみ感じています。まだ、やり残していることがあるのだと肝に銘じ、これからは、地域の為、市民の皆様の為に頑張らなければならないと、心に言い聞かせております。

活動目標

『予防医療・介護 乳幼児の子育て支援 認知症予防 女性特有ガン、特に子宮頸がんや乳がん検診の推進(女性の技師・看護師ができるよう医師法の改正を請願) 道路行政 高齢化社会への対応 住みよい街づくり・・・』

これからも引き続きご支援よろしくお願ひ申し上げます。

②九月定例議会 議案十八件全て可決

③一般質問・認知症対策

(厚生労働省発表 2012年度時点)

認知症高齢者は462万人で65歳以上の人の有病率15%で予備軍が400万人です。アルツハイマー型認知症が67%、6%、脳血管障害が19%、5%、レビー小体型が4%、3%
一、物忘れが気になったらどうする?
二、物忘れ外来の窓口のある病院は?
三、軽度のアルツハイマー型の認知症の人にどのように対処をしてくれるのか?
四、市の予防対策は?
五、他市の状況、助成金の状況は?
六、徘徊し保護された人の状況は?
七、2013年警察に捜索願が出された認知症の人は1万322人、鎌ヶ谷市?
八、予防事業対策に市の見解は?
詳細は市政報告会でお話しします。
お越しください。お待ちしております。

・リハビリテーション病院誘致提案

ケガをして八〇日間入院し、病院の転院先を探す苦労と困惑をした経験から五年先、一〇年先の超高齢化社会を考えると、リハビリ病院が不足することが明らかです。今から病院の誘致を検討すべきで、系列病院をたくさん開院している医療法人に造ってくださいますの情報を流しておく必要がある。今から準備。

・観光振興策 駅間ハイク提案

鎌ヶ谷市は狭く21、11km²の面積に私鉄4線、8駅もある大変交通の便の良い都市です。このことをPRするために鉄道会社とタイアップして、駅と駅の間を史跡や施設、農園を観て廻り、3つないし4区間を歩いてもらうハイキングイベントを提案。イベントを通して対外的に交通の便利さや鎌ヶ谷市を宣伝するのに大変有効。いろいろな企画が可能。



会報『すえひろ』48号

(平成26年10月号)

10万人の

選 択

はら はちろう

原 八郎

鎌ヶ谷市議会議員
都市・市民生活常任委員会委員長
会派 政友会

原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。
鎌ヶ谷市道野辺本町1-1-8 ☎445-3466 <http://hara-hachirou.info/>

子どもたちの未来のために
今できること



④乳幼児の子育ての大切さ
乳幼児期の脳の発達の話

乳幼児期の脳の発達は著しく、誕生時の脳細胞の重さは三五〇g程ですが、三歳までに一二〇〇gまで発達します。青年で最大一五〇〇gです。乳幼児期に大部分の脳細胞は成長してしまいます。

三歳ぐらゐまでしか発達しない脳細胞「眼窩前頭皮質」があります。子の脳細胞は親とのスキンシップや愛情が発達の必要条件なのです。物事の良し悪しを判断するための情報を前頭葉に伝達する経路の途中にある細胞なのです。ここが未発達の途中がいろいろな事件を起こします。正しい判断をするために欠かせない細胞なのです。「三つ子の魂百まで」とはこの脳のことではないでしょうか。

保育園待機児童〇を目指してはいますが、できるでしょうか。中央公民館の跡地に定員六〇名の保育園が出来ます。預けられることが判れば預けて働き出ようと考える人が増えます。乳幼児は保育園に行くことを望んでいるでしょうか。保育園で親と別れるとき、ほとんどの乳幼児は泣きます。

三歳までの乳幼児の子育ては大変重要です。連絡いただければ、お話し、説明に伺います。原まで

⑤「脳トレいきいきサロン」

応募者が多く、サポーター不足。
サポーター募集
連絡先 小林 四四三・二五二七

認知症予防が重要視されています。鎌ヶ谷学習療法研究会が認知症予防の為、脳トレいきいきサロンを開いて一〇年になりました。

四月と十月に受講者を募集しています。現在、火曜日に南初富コミュニティセンター、木曜日に中央公民館、金曜日に東部学習センターで開催しています。

受講者が七〇名を超えサポーターが不足がちです。ボランティアを募集中です。

高齢者が簡単に出来る計算や、読み書きのお手伝いです。皆が百点をとれる教材を使います。受講生が百点を貰っていきいきとした顔になります。大変、やりがいのあるボランティアだと思います。

研修は受けていただけますが、ほとんどの人が出来ません。年齢は問いません。学習療法士一級、二級の資格もあります。

サポーターの条件はただ一つ
『心に愛がある方です。』

「歩み」原八郎のルーツ
第三十四回「二年浪人決定の日」

大学受験に失敗し、一年浪人しました。三か月は田舎で予備校にもいかず過ごしました。明らかに勉強不足で、予備校でも苦戦しました。

小学校の時まったく勉強せず、兄たちより、お前はバカだとよく言われていま

した。七人の兄たちは皆優等生でした。一浪の時の受験も苦心し、可否通知の電報も皆、不合格の桜散るでした。

兄弟が十一人いましたので、親は東京に古い家を買ひ、そこから子供たちを大学に通わせ、我が家の独身寮としました。何かにつけ兄たちに引け目を感じていましたので、顔色を伺いながら少年時代を生きてきました。最後の不合格の電報が来て二年浪人が決定した日に私を大きく変える出来事がありました。

同居していた四つ年上の兄からの、きつい叱責でした。「お前はバカだから二年浪人することになったんだ。二年浪人するというのがどんなことか解っているのか。サラリーマンになったら、定年まで二年短くなるし、出世も遅くなる。お前は本当にどうしようもない奴だ。」あと一年勉強をしなければならぬとシヨックを受けている時にこのきつい叱責でした。この時、心に誓いました。大学を卒業してもサラリーマンにはならない。兄たちと別の道を歩む。

二浪して、幸いにも早稲田大学に合格。どんな事業をするにも資金が必要。両親は高齢で、早く安心させてくれと会社勤めが当然と思っている。親から事業資金を出してもらうことは不可能。自己資金づくりに効率のいいアルバイトをした。何をするかは未定であったが、事業資金をためる努力をした。大学三年の秋に一人、北海道旅行に行き、貸自転車業を思いつき、四年の夏に北海道層雲峡でレンタサイクルを開業する。それまでに、自己資金四十八万円つくる。初任給一万二千円のころです。日本レンタサイクルの先駆けを作った。大成功収める。昭和四一年、大学四年の夏です。私の事業家人生の出発点です。

(次号に続く)